

歴史の幕開けを 万全期して

議 会
6 月



開会のあいさつをする久野町長

平成21年第2回三好町議会定例会が6月5日から23日までの19日間の会期で開かれました。一般質問は9日と10日の2日間行われ、12人の議員が登場。質問に対し、町長ほかが答弁しました。今回は、久野知英町長の開会のあいさつの抜粋および提出された議案、補正予算の内容について紹介します。

町長あいさつ

◆市制施行に向けて

本年度は、市制施行に向けた重要な年であり、市として新たな歴史の幕開けを迎える年です。去る4月30日付けで総務省より愛知県に対し「愛知県西加茂郡三好町を市とすることについては、異議がありません」と市制施行の内協議の回答がありました。5月19日付けで愛知県知事より、町の名称を変更することについて「異議ありません」と協議の回答がありました。これを受けて、今定例会に「三好町の「三好」を平仮名の「みよし」に名称を変更するための議案と「みよし町」を「みよし市」とすることに ついての2議案を上げさせていただきました。慎重審議の上、議決決定をいただきたいと考えています。

地域の特性や特色を生かしたまちづくりを推し進めるためには、基礎自治体としての自治力の強化が必要であり、現在「ふるさと三好」のさらなる伸展を目指し、将来

を見据えたまちづくりの指針となる新総合計画の策定に取り組んでいます。皆さんに「いつまでも住み続けたいまち」との評価がいただけるよう「夢と緑と活力あるまち」づくりに全力を傾注していきます。

また、市制施行に向けて、町民の皆さんにかかわりの深い住所表示については、現在、各行政区で町からお示した素案の検討がされているところです。円滑な市制への移行に向け万全を期してまいりますので、議員の皆さん、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

◆安全・安心なまちづくりを推進

さて、東海地方の梅雨入りも間近に控えています。これからは集中豪雨や台風による災害の発生が心配される時季を迎えます。昨年の水害を振り返りますと、地球温暖化との関連も指摘される中で短時間の局地的な大雨が多く発生し、いつ、どこに大雨が降るか分からない「ゲリラ豪雨」により、河川の氾濫や急な増水が多発し、各地で災害による事故が続きました。テレビなどで報道される近隣市町の災害状況を目の当たり

にするにつけ、改めてゲリラ豪雨の恐ろしさを痛感しました。

去る5月31日に、水害応急対策活動の迅速化と水防体制の確立、そして防災意識の高揚を目的とした「水防訓練」を、議会や区長会、消防団をはじめ、防災関係機関の皆さんの参加とご協力をいただき実施いたしました。訓練を通じ水防工法の習得や防災意識の再確認をしていただけたものと思います。

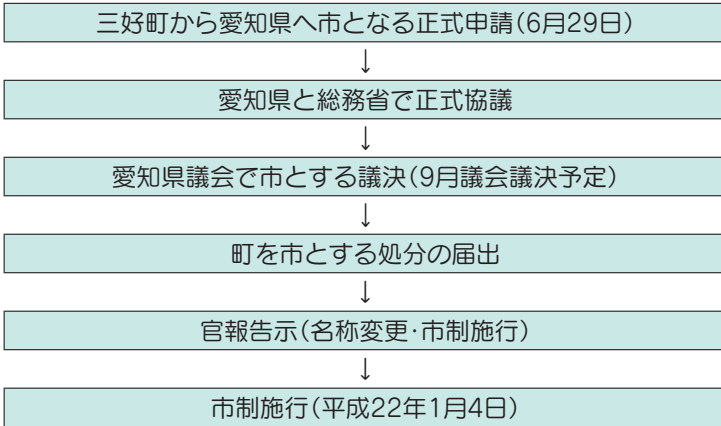
わが町においては、幸いにしてここ数年、集中豪雨や台風による大きな風水害、そして心配されている地震災害は発生しておりませんが、昨年は国内外において自然の猛威による極めて甚大な災害が頻発していました。自然の猛威を避けることはできませんが、備えることにより被害を最小限に止めることは可能です。

町でも、本年の防災対策事業として、小中学校・保育園などに大地震に備えた緊急地震速報の受信機器を設置し、災害情報を皆さんにお伝えするための防災無線のほか、本年度8月から防災情報メール配信事業を始めます。

今後も緊急時における災害に関する情報の発信に努めるとともに、地域の防災組織と連携を図りながら、防災体制の強化充実に取り組んでいきますが、被害を最小限に食い止めるためには、皆さん一人一人が防災意識を再認識いただき、日ごろから緊

市として新たな 迎える年を

■市制施行への今後の手続き



■提出された議案などの一覧

議案番号	議案名	議決
議案第54号	町の名称を変更する条例	可決
議案第55号	三好町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
議案第56号	三好町税条例の一部を改正する条例	可決
議案第57号	平成21年度三好町一般会計補正予算(第2号)	可決
議案第58号	工事請負契約の締結について(なかよし保育園建替(建築)工事)	可決
議案第59号	工事請負契約の締結について(なかよし保育園建替(機械)工事)	可決
議案第60号	工事請負契約の締結について(なかよし保育園建替(電気)工事)	可決
議案第61号	工事請負契約の締結について(三好中学校大規模改修(2期)建築工事)	可決
議案第62号	みよし町をみよし市とすることについて	可決
報告第2号	三好町土地開発公社の経営状況について	-
報告第3号	財団法人三好町国際交流協会の経営状況について	-
報告第4号	繰越明許費の報告について	-

■補正予算(抜粋)

一般会計補正予算

※補正額 2001万6千円を加えた一般会計の予算総額は、歳入・歳出ともに233億4837万6千円です。

〔補正額の内訳〕

【歳入】		【歳出】	
国庫支出金	53万5千円	総務費	1099万1千円
県支出金	792万1千円	民生費	117万1千円
寄附金	50万円	教育費	785万4千円
繰入金	1106万円		

急時に備えていただくことが大切です。非常用備品の点検や避難場所の確認など、自らできる「備え」を施していただき、緊急時には、災害に関する情報に注意を払っていただくとともに、地域やお隣との連携・互助による身の安全確保をお願いします。防犯については、昨年5月に豊田市内で発生した女子高校生殺害事件はいまだに解決していません。また、今年5月に蟹江町の民家で親子3人が殺傷されるという事件、さらに先日6月1日は町内のコンビニエンスストアでの強盗事件が発生するなど、極めて憂慮すべき状況にあります。

町では、児童・生徒に対する安全な登下校のための指導の徹底、教育委員会による防犯パトロールや教職員による校区巡回の強化、近隣市町との不審者情報の配信など、児童・生徒が犯罪に巻き込まれないよう防犯体制の見直しや強化などの安全対策に努めています。

各区域では「地域の安全は自分たちで守ろう」といった機運の中、自主防犯パトロール隊の皆さんによるパトロールなど、地域ぐるみの防犯活動を展開いただいています。このように防災と防犯には「地域の力」

が大きな役割を担います。わが町では、現在、各地区で開催されている「地区体づくり事業」をはじめ、地域ふれあい事業や交流事業を積極的に展開していただいております。こうした事業を通じて、地域の連帯感や住民相互の結びつきが一層高まり、災害時の共助体制や防犯体制強化の大きな力、すなわち「地域力」がさらにはぐくまれるものと確信しています。

今後とも、豊田警察署や地区防災組織、尾三消防署や消防団、そして地域の皆さんと一体となって「安全で安心なまち」づくりを推し進めていきますので、ご協力をお願いします。